

# 15年戦争と日本の医学医療研究会第27回定例研究会のご案内

## 一般演題募集中(演題は事務局へFAXまたは郵便にて申し込み受付、10月末〆)

日時 2009年11月15日(日) 11:00~17:00

会場 東京大学医学部教育研究棟2階 第1および第2セミナー室(下図参照)

11:00-13:00

**記念講演** 「細菌戦をめぐる残された諸問題」 松村 高夫 2007年3月まで慶応義塾大学経済学部教授

日中戦争下の日本軍による細菌戦および朝鮮戦争下の米軍による細菌戦について、何が解明されているか、何が未解明であるかを示したい。

「悪魔の飽食」をうたう東京合唱団所属。

専攻はイギリス社会史・労働史、日本植民地労働史。著書に『戦争と疫病 731部隊のもたらしたもの』(共著)本の友社、1997年;『連続講義 東アジア 日本が問われていること』(共編)岩波書店、2007年;『裁判と歴史学-731細菌戦部隊を法廷からみる』(共編)現代書館、2007年;『日本帝国主義下の植民地労働史』不二出版、2007年;『大量虐殺の社会史』(共著)ミネルヴァ書房、2007年;『満鉄の調査と研究』(共編)青木書店、2008年など。

13:00-14:00 昼食休憩

14:00-17:00 **一般講演**

「東京空襲による精神的被害—植松七九郎・監入圓祐の資料から—」

岡田 靖雄

「ノモンハン事件(戦争)学術研究会ならびに日本軍要塞学術研究会の参加報告」

一戸 富士雄

「戦争と医学」第7次訪中調査(2009年9月15日~24日)哈爾濱・南京調査結果概要報告

第7次訪中調査団(刈田 啓史郎、蒔 昭三、西里 扶弔子、西山 勝夫、原文夫、西山 とき子)

・「調査の概要と特徴、今後の課題」

刈田 啓史郎

・「哈爾濱市档案局におけるペスト流行に関する档案調査」「哈爾濱医科大学医史学教研室交流」「哈爾濱市社会科学院座談」「伍連徳記念館」「東北烈士館調査」

蒔 昭三

・「731部隊趾実地調査(地下通路、軍人・軍属住宅の趾などを含む)」

西山 勝夫

・「731部隊特扱被害者家族、金東君元哈爾濱市病院副院長との座談」「黒龍江省社会科学院での座談」「侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館朱成山館長、劉相雲・副館長等との学術交流、展示・資料など閲覧」

西里 扶弔子

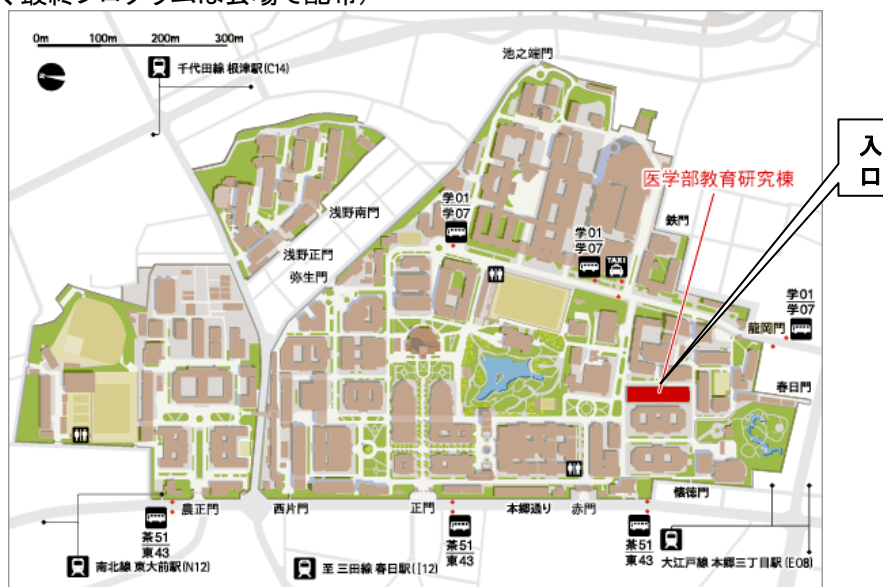
・「南京医科大学孟国祥教授との学術交流」「南京師範大学経盛鴻教授・大学院生との学術交流」「栄1644部隊(現、南京軍区総医院)、『細菌工場』の趾、九華山の实地調査」

原文夫

・「第二歴史档案館の档案調査」

刈田 啓史郎

その他応募演題(募集中、最終プログラムは会場で配布)



15年戦争と日本の医学医療研究会事務局

〒520-2192 大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門内

E-mail: [katsunishi@aol.com](mailto:katsunishi@aol.com) FAX: 077-548-2189 URL: <http://war-medicine-ethics.com/>